

単独支援給付金・事業計画書(単独病床機能再編計画)

1 申請者の情報		申請年月日	2023年10月6日
フリガナ	ヤマダケンノウセイノキョウキョウトウミアレンゴウカイシユトウソクゴウビョウイン	住所・所在地	〒742-0032 山口県柳井市古開作1000番地1
医療機関の名称	山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院		

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計※2
1	①平成30年度病床機能報告における許可病床数	0	274	86	0	0	360	274
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数 ※1						0	0

※1 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は「1②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
2	①平成30年度病床機能報告における稼働病床数	0	274	86	0	0	360	274
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数 ※3						0	0

※3 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「2②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

<病床削減後の許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
3	病床削減後の許可病床数	0	235	93	0		328	235

<他の医療機関との病床融通>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
4	他の医療機関との病床融通数 ※4					0

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。

また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

		回復期	介護医療院	合計
5	削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数			0

<年間在棟患者延べ数(人)>

		高度急性期	急性期	慢性期	合計
6	①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人) ※5		75,467		75,467
	②令和2年4月1日時点年間在棟患者延べ数(人) ※6・7				0

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

※6 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「6②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※7 令和元年度病床機能報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は令和元年度病床機能報告の数値を計上すること。

変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること。

3 病棟別内訳(予定含む)

【変更前の状況(R2.4.1まで)】

変更前	病棟別内訳 (病床機能報告から転記)	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	稼働病床数
		①東館3階病棟	急性期一般入院料1	急性期	39床	39床
		②東館4階病棟	急性期一般入院料1	急性期	48床	48床
		③東館5階病棟	急性期一般入院料1	急性期	49床	49床
		④東館6階病棟	急性期一般入院料1	急性期	55床	55床
		⑤南館3階病棟	急性期一般入院料1	急性期	43床	43床
		⑥南館4階病棟	急性期一般入院料1	急性期	40床	40床
		⑦南館5階病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	32床	32床
		⑧南館6階病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	54床	54床
計					360床	360床

※平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。



【令和6年度】

R6 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		①東館3階病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	39床	令和6年4月
		②東館4階病棟	急性期一般入院料1	急性期	48床	年 月
		③東館5階病棟	急性期一般入院料1	急性期	49床	年 月
		④東館6階病棟	急性期一般入院料1	急性期	55床	年 月
		⑤南館3階病棟	急性期一般入院料1	急性期	43床	年 月
		⑥南館4階病棟	急性期一般入院料1	急性期	40床	年 月
		⑦南館5階病棟		休棟等		令和6年4月
		⑧南館6階病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	54床	年 月
計					328床	



【令和7年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

R7 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		以後変更なし				年 月
						年 月
						年 月
計					床	

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。
 ※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

対象医療機関名 山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院

1 地域の状況		
地域の現状と課題	<p>柳井医療圏においては、6病院、8診療所が病床を有しています。 急性期病床を有する医療機関のうち当院以外は診療所で、二次救急などの高度急性期・急性期医療は当院に集約されています。 回復期は当院と周防大島町立2病院が病床を有しており、回復期を経過した患者は在宅あるいは必要に応じて慢性期の医療機関に転院する等、医療機関の連携・役割分担が進んでいます。 2022年度病床機能報告では、地域医療構想における2025年の必要病床数推計に対して急性期が87床過剰、回復期が59床不足している状況です。 当圏域の人口は令和4年10月時点で71,476人で毎年2%程度減少しています。</p>	
2 自施設の状況		
自施設の現状 (変更前)	<p>当院は柳井医療圏で唯一の二次救急病院であり、地域の基幹病院として高度急性期、急性期、回復期の医療を担っています。現在の病床数は急性期274床、回復期86床です。 令和2年9月から回復期病棟32床を新型コロナウイルス感染症専用病棟として運用していましたが、令和5年9月末をもってその役割を終え、現在は休床としています。 令和4年度の1日平均入院患者数は287.3人で、医薬品・医療技術の進歩、後方連携の推進等による入院期間の短縮により病床削減が見込める一方、外来化学療法の増加により外来病床が不足しています。</p>	
病床数の見直し	見直しの考え方	<p>医療圏の人口減少に伴う医療需要の将来予測と合わせて、入院期間の短縮、病棟再編等により病床運営の効率化を図ることで、地域医療構想の実現に向けた病床数の見直しを行います。 具体的には、令和2年9月から新型コロナ専用病棟としていた回復期32床を削減し、急性期39床を回復期病床に転換します。 この結果、病床機能別にみると、見直しによって、急性期が32床削減し、圏域で不足する回復期が7床増加します。 また、病床削減に併せて、現在不足している外来化学療法室を増床します。</p>
	対象の病棟・病床の概要	<p>東館3階病棟39床を急性期病床(急性期一般入院料1)から回復期病床(地域包括ケア病棟入院基本料2)に転換し、現在休床している南館5階病棟の回復期病床32床を削減します。</p>
	入院患者への対応	<p>高度急性期・急性期医療が必要な患者については、これまでどおり5病棟235床で受け入れ、回復期の患者は南館6階病棟と、新たに回復期に転換する東館3階病棟(93床)で受け入れます。 削減を予定している南館5階病棟32床は現在休床としており、病床数の見直しによる影響はないと考えます。</p>
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	<p>病棟運営の効率化と病棟再編により、柳井医療圏において将来過剰となることが予測される急性期病床を削減し、急性期病床の一部を不足している回復期病床に転換するものであり、地域医療構想の実現に資するものであると考えています。</p>	

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R5		R6		R7		計
		変更時期		変更時期		変更時期	
高度急性期							
急性期			△ 39	R6.4月			△ 39
慢性期							
合計			△ 39				△ 39

【参考:R4病床機能報告(柳井保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
報告	①R4(2022)現状		337	170	821	115	1,443
	②R7(2025)予定		298	209	725	79	1,311
構想	③R7(2025)必要数	49	250	229	563		1,091
④構想との差(R4)(①-③)		△ 49	87	△ 59	258	115	352
⑤構想との差(R7)(②-③)		△ 49	48	△ 20	162	79	220